

たんぽぽ うしん

第34号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL：011-792-3969／FAX：011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2015年9月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円

あいの里教育大駅前 新福祉センターが完成します!

— 障がい者を社会の真ん中に位置付けたノルウェーに学ぶ —

社会福祉法人 札幌協働福祉会 理事長 辰田 収



「拓北・あいの里福祉センター」

いよいよ10月、拓北・あいの里福祉センターがあいの里教育大駅前、地区センター隣接で開設します。このセンターは(1)高齢者部門<高齢者等共同住居・レストラン・デイサービス・ショートステイ等>とともに(2)北区児童発達支援センター(乳幼児から学齢の障がい児童への相談支援：従来の児童デイ「むう」「ひびき」)、(3)さらに障がい者の就労(清掃・介護など)の場等が用意されます。法人本部も設置される予定です。

高齢者や障がい者の福祉センターが人口3万の街の真ん中に登場します。駅や公共施設よりも、大きな大きな建物が福祉センターとして始まります。来年4月に開設する道立高等支援学校(旧拓北高校：あいの里公園駅下車)とあいまって「学園都市あいの里」が「福祉都市」として北海道の、日本の中で輝くことを夢見たいものです。

1995年北欧のノルウェーがノーマライゼーション革命を宣言しました。当時のオスロ市長セーボネス女史が高々と宣言しました。「私は片足(が義

足)のバレリーナでした。義足の女の子が夢を見ました「ノルウェーは障がい者が社会の真ん中で生きる社会を目指します。それがノーマライゼーション革命です」。その後のノルウェーは、街の中心街に障がい者の事業所と店が次々とでき、まさに障がい者を中心に位置づけた社会になっていました。

新福祉センター併設の高齢者デイサービスとレストランは、囲碁・将棋・麻雀の娯楽はもとより、カラオケ・ゲーム・読書三昧や工芸の定番から、リハビリ・よさこい・阿波踊り、映像を駆使した各種のお楽しみメニューを準備したいもの。私も身障3級となりました。楽しいデイサービスをつくりたいものです。夢をみましょう。

保護者・利用者の皆さん、関係者の皆さん、あいの里を終の棲家として、すばらしい街にしたいもの。そのためには職員確保がまだまだ不足しています。札幌協働福祉会はがんばります。お力をお貸しください。ともに作りあげましょう。

毎年恒例の

お楽しみ「抽選会」

社会福祉法人 札幌協働福祉会主催 第21回 収穫祭 & アクティビティセンター 20周年記念

無料送迎バス運行します!

◎日 時：9/5(土)11:45～15:30
◎場 所：札幌協働福祉会敷地内特設会場
(札幌市北区篠路町福移 147-36)
◎問合せ：あいのさとアクティビティセンター
TEL:011-792-4373

前夜祭

◎日 時：9/4(金)15:45～20:00
◎場 所：拓北・あいの里地区センター
(札幌市北区あいの里1条6丁目1-1)

🌻🌻 おもいきり夏休み in 北海道 2015

7月22日から8月12日まで、仁木町の「山の家・きょうどう」を拠点に福島プロジェクト「おもいきり夏休み in 北海道 2015」(山の家を支える会主催)が行われました。今回は16名が参加し、さくらんぼ狩りやラフティングなどを体験。北海道の夏を存分に満喫しました。



7/22(水) ~ 8/12(水)
活動の様子



ルスツ遊園地にて



尻別川でラフティングに挑戦



オールを持ってポーズ！



仁木町役場を訪問。佐藤町長を囲んで記念写真



積丹町の神威岬にて



余市町の円山公園にて



仁木町の山川農園でさくらんぼ狩り

📎 新人職員紹介

～ 2015年度 その③ ～

前号より引き続き新人職員を紹介いたします。

①出身地(都道府県と市町村名) ②趣味・特技 ③好きな食べ物 ④尊敬する人 ⑤夢・目標

なかむら たつや
札幌協働福祉本部 中村 樹也



- ①札幌市
- ②映画鑑賞、スポーツ
- ③ラーメン
- ④両親
- ⑤周りから信頼されるよう一生懸命頑張ります。

ひろせ たかこ
あいのさとワークセンター 廣瀬 貴子



- ①札幌市
- ②キャンプ
- ③チョコレート
- ④働くお母さん
- ⑤海外一周船の旅

すずき まさこ
ふれあいセンター A・yell 鈴木 雅子



- ①美唄市
- ②美味しいものを食べる
- ③お寿司、みそラーメン
- ④両親
- ⑤プロ野球 日本ハムの日本一！

たけだ なおと
あいのさとワークセンター 武田 直人



- ①札幌市
- ②カラオケ
- ③焼き肉
- ④I.Mさん(ゼミの先生)
- ⑤毎日、余裕を持って生活すること

たてやま まこ
あいの里協働保育園 館山 真子



- ①札幌市
- ②音楽鑑賞、水泳
- ③海鮮もの
- ④両親
- ⑤一軒家で犬を飼うこと

おおた あいか
あいの里協働保育園 大田 愛花



- ①苫小牧市
- ②体を動かすこと！子どもたちと遊ぶこと
- ③オムライス
- ④お母さん 保育園の先生方
- ⑤保育士の資格をとり、一人暮らしをする

たなか こづえ
アートセンターあいのさと 田中 こづえ



- ①札幌市
- ②読書、DVDと映画鑑賞
- ③果物、ケーキ
- ④恩師：相馬幸子先生
- ⑤100歳を越えた猫に健康で楽しく生きてもらうこと

しらい ひろき
アートセンターあいのさと 白井 宏樹



- ①小樽市
- ②音楽
- ③パン
- ④碓井良平さん
- ⑤たくさんあります。

いいだ ちえこ
ヘルパーステーションたんぼぼ 飯田 智恵子



- ①室蘭市
- ②登山
- ③コーヒー、ビール
- ④両親
- ⑤好きな山を車で周りながら登ること

やまだ あけみ
当別・高岡 アクティビティーセンター 山田 明美



- ①札幌市
- ②温泉めぐり、手話
- ③お寿司、スイーツ
- ④母 ⑤美味しい給食を作ること。ユーザーさんの良いところと一緒に見つけていきたい。

2015年
6月~7月

イベント報告コーナー

7/16(木)
~17(金)



山の家で恒例の「あくていぶ井」!

7/9(木)
~10(金)

あくていぶ& ワークセンター

小樽硝子屋本舗「和蔵」前にて



フージング体験で
ストラップ作り!



美味しそうな魚がいました♪

7/10(金)
~11(土)

アクティビティーセンター



▲カボチャソフトクリーム
美味でした☆

◀みなさんで集合写真

キャンプ場にて
(2班目)



7/8(水)
~9(木)

クレタパ・ポエム

滝川美術自然史館にて
(1班目)



▲パッと咲いて~シュン
と散って~?(1班目)

2015 札幌協働福祉会 夏のキャンプ

6月23日(火)から7月18日(土)までの期間、札幌協働福祉会の各事業所では1泊2日のサマーカーンプを行いました。今年も各事業所では仁木町「山の家きょうどう」と、自由選択に分かれて宿泊。観光スポットめぐりや温泉、くだもの狩りなどの企画を楽しみました。

まあぶオートキャンプ場にて
集合写真

そば打ち体験



7/2(木)
~3(金)

ふれあいセンター



ランチバイキング



6/23(火)
~24(水)

サポートセンター



きのこ王国にて(2班目)

6/24(水)
~25(木)

ドリームセンター あいあい



▲夕食のジンギスカンに舌鼓



▲帯広の元世界一長いベンチで昼食

7/17(金)
~18(土)

高岡アクティビティーセンター

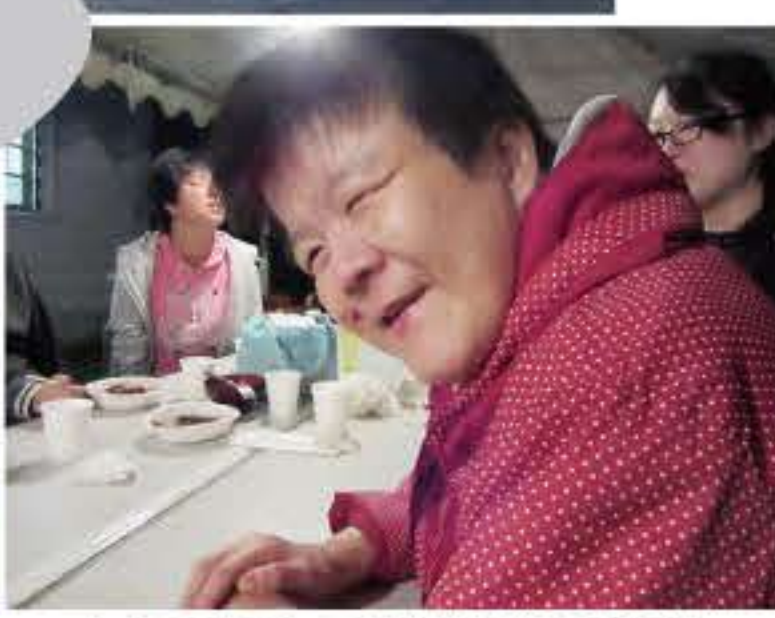


▲夜は花火を楽しみました

◀キャンプ出発! にぎやかな車内です

7/7(火)
~8(水)

ノースサファリへようこそ!
(1班目)



▲山の家にて焼き肉&焼きそばにご満悦(1班目)

7/3(金)
~4(土)

アートセンター

2日目、ニセコで謎解き宝探しゲームに挑戦



▲島武意海岸で記念撮影。クマ出没のため海遊びができなくて残念でした



岬の湯へ行く途中の海岸で急きよ水遊びを決行!



インタビュー 11

〔前号に引き続き潤口幸子氏のインタビューを掲載いたします。〕

特定非営利活動法人
自立支援センター歩歩路(ぽぽろ)
理事長

たにくち さちこ
潤口 幸子氏

▼3.11 東日本大地震の時は、真っ先に支援に駆けつけましたね。

潤口 ホップさんが動き始めたので、竹田代表に「私たちも連れて行ってほしい」とすぐ要請しました。竹田さんから連絡が来るまでは、物資支援の活動をしていたのですが、ようやく現地に入れることになって、3月28日フェリーに乗り込み、八戸港から東北道で石巻に入りました。札幌協働福祉会、ホップそして歩歩路の3者が被災地で一緒に活動した最初です。移送支援などの活動拠点をつくるため、まずガレキの撤去を始め、家具や畳を交換したりして、ようやく4月5日に拠点ができ、移送支援が本格的にできる体制ができました。拠点にレウという名前がつけました。

▼自分で移動するのが困難な方を病院などに送迎するボランティア活動を今日まで続けてきたのですね。

潤口 NPO 法人格を取得し、現地雇用をしているところがすごいですね。5月31日にレウの活動報告会が石巻であったので、出かけてきました。久しぶりに行って、町が変わったことに驚きました。新しい建物、お店が増え、一見何事もなかったかのように見える。それでもレウの活動が続いているのは、困っている人がたくさんいるということです。仮設から復興住宅に移り、孤独な人が増えていくのではないかとレウの村島さんは心配していました。

▼歩歩路の10年間で思い出に残ることは？

潤口 やはり被災地支援です。災害に強い職員を育てていきたいと考えていました。協働福祉会さんと一緒に活動することは、職員にとっていい刺激になります。他所の職員と一緒に活動する機会はないですから。福島の子どものための保養の受け入れ事業も、ボランティア活動の側面だけでなく、職員を育てる役割をものすごく持っています。だから、今後も続けたいと思っています。そして、もし万一、札幌で災害が起きたとき、3法人が力を合わせて何かの役割を果たせる関係であってほしいと思っています。宝くじが当たったら、3法人共同で使えるトランシーバーを買って、災害に備えたいですね。(笑)

▼歩歩路(ぽぽろ)という名前がユニークですね。

潤口 DPI 世界大会で出会った障がい者は自立度の高い人たちで、社会的役割を持っています。こうした障がいのある人たちが一歩先を歩いて、福祉的社会にする活動をしてきています。私たちも年をとるといずれそこ(障がい者)に行きます。そこに向かって歩いていく人生です。そうした障がい者に寄り添う団体でありたいという思いから名付けたのです。

▼歩歩路の新しい10年に向けて。

潤口 今まで通りに、地域・社会のニーズに地道にこたえられ、札幌協働福祉会のように地域から頼られ、地域とともに歩む団体でありたいと思っています。

▼ありがとうございます。

地域行事の紹介

地域の夏祭り

拓北・あいの里地域の3大夏祭り「あいあい祭り」7月25日(土)・26日(日)、「拓北盆祭り」8月1日(土)・2日(日)、「あいの里ふるさと商興まつり」8月8日(土)・9日(日)が今年も盛大に行われました。「あいあい祭り」はあいにくの雨天でしたが、「拓北盆祭り」・「あいの里ふるさと商興まつり」は好天に恵まれ、多くの皆さんが楽しんでおりました。



あいあい祭り

事業所紹介コーナー ⑫

あいのさとワークセンター

【障がい福祉サービス事業】

就労継続支援B型、就労移行支援

2015年4月開設

札幌市北区篠路町福移147-36

TEL 011-790-2333/FAX 011-790-2334



あいのさとワークセンターは、旧アクティビティーセンター(福移清掃工場隣)の建物や畑を利用し、平成27年度4月(今年度)から事業を行っています。

昨年度まで学園通りあくていぶで行っていた、各種公園の除草作業や除雪作業を行う「環境整備作業」や割り箸の袋詰めや製本作業を行う「委託作業」のほかに、アクティビティーセンターで取り組んでいた無農薬野菜を栽培する「園芸作業」や平飼いの養鶏を飼育する「養鶏作業」を作業に加え、『楽しく働く』をコンセプトにして各種作業に取り組んでいます。

開放的な環境で伸び伸びと作業に取り組みながら、それらの各種作業を通じて利用者とともに『働く楽しみ』や『働いた達成感』を共有し合える事業を行っていきたく考えています。

【文・あいのさとワークセンター 小林 禅】



畑の草取り作業の様子(園芸班)



割り箸の袋詰め作業の様子(委託班)



除草作業の様子(環境整備班)

社会福祉法人 札幌協働福祉会 自然志向の店 あくていぶ

感謝祭

特設テントを設置!
10時~17時まで
販売します!

9月16(水)・17(木)・18(金)

あいの里3条4丁目9-1(学園通り歩道橋下)

TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

ワークセンター産他、有機・無農薬・減農薬野菜

◆無農薬野菜と平飼いの有精卵の特売!

◆店内商品10%off *特価商品等の一部商品を除きます!

恒例の三角くじ
実施します!

*ご来店者のみに限ります。
*お一人様1回限り

ねぎ 無農薬
1束 ¥50 税込

かぼちゃ 無農薬
小~中玉 ¥100 税込

▼他にも旬の野菜や調味料が目白押し!▼

—「自然志向の店 あくていぶ」について—
障がい福祉サービス事業所「学園通り あくていぶ」で
就労支援を行っているお店です。

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設
“山の家きょうどう”からの通信を掲載
します



ふくしま にき よいち こどもまつり 挨拶

福島県いわき市立中央台南中学校 本田 千晶

この夏休み、山の家に保養に来た子どもたちが「こどもまつり」を主催しました。
参加者の感動を呼んだ開会式での子ども代表のあいさつを紹介します。

こんにちは、皆さん。お祭り楽しんでますかー？

今日のお祭り、主に誰が計画を立てたりしたのか、皆さんは知っていますか？ そう、私たち、こどもです。大人の提案に沿って、アドバイスなどもたくさんいただきながら、ここまでできました！

そして、お祭りをしたのにも理由があります。それは、感謝の気持ちを伝えるためなんです。誰に伝えるかと言いますと、北海道の今ここに来てくださっている皆さんにです。

私たちは主に福島から来ています。そして、ここ北海道に保養ということによって来させていただいています。あたたかくむかえてくださった皆さまに本当に感謝しているんです。

2011年3.11。皆さんは何の日かご存知ですよ。東日本大震災の日です。テレビでは「復興」という言葉をよく耳にしたと思います。もう、福島も他の県のように安全で、復興をより推進していると。

ではなぜ、今私たちが保養に来ているのか。その理由はひとつ。原発の影響です。ここまで私の話を聞いて、「えっ！？福島って安全ではないの？」とお思いになった方がたくさんいると思います。しかし、そんなことはありません。福島に住んでいるお母さんやお父さんたち、はたまた多くの学生たちが現状を何とか変えようと必死にまわりへSOSを発信しています。そんな声なき声を聞き届けた、北海道の人々が私たちが少しでも助けようと手をさしのべてくれました。その努力が今でも続いているわけです。

2011年夏より保養は何年も続けなければならない必須事項として行われています。ですから、私たちはもう感謝しきれないほどのありがたさを感じているのです。

今日の祭りでは、仁木町の良さも伝えるべく、仁木産の新鮮でおいしい食材を使用しています。仁木って、本当に素敵な場所ですよ。私はここが大好きになりました!! 私たちの努力の結晶ともいえる祭りをどうか、楽しんでください。



「こどもまつり」代表あいさつ
本田千晶さん(写真・右)



流しそうめんを楽しむ子どもたち



POPも手作りして
初めての販売体験！

《拓北・あいの里地域の行事予定》

■9月27日(日) みんなで歩こう会

主催：拓北・あいの里連合町内会 場所：拓北・あいの里地区センター集合

■10月3日(土)～4日(日) 第19回文化フェスタ 場所：拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

■9月3日(木)～9日(水) フィンランド「カーリシルタ」来日

■9月20日(日)～9月21日(月) キロロリゾート旅行

■10月4日(日) 仁木町うまいもんじゃ祭り参加

行事予定



HSK たんぽぽ通信 第34号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻522号
[発行] 2015年9月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子



◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)